

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	いろ縁びつにじい		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2025年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者・職員ともに非常時対応および満足度の評価は高く、安心して通所できる環境が整っていることが当事業所の大きな強みです。 安全管理や緊急時対応体制が一定の信頼を得ていることがうかがえます。	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の実施 緊急時マニュアルの整備 役割分担の明確化 安全点検の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット事例の共有強化 BCP(事業継続計画)の見直し 保護者への非常時対応説明の可視化
2	適切な支援の提供および総合的満足度は概ね高評価であり、個々の特性に応じた支援が実施できていることが強みです。	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に基づく支援 小集団活動を通じた社会性育成 成功体験を重視した関わり 学校との必要に応じた連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の振り返り体制の強化(当日共有の仕組み化) 関係機関との情報共有の定期化
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会未開催 ペアレントトレーニング未実施 参観機会の未設定 保護者同士の交流機会がない 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の個別対応を中心としてきたため、集団的支援の仕組み化が後回しになっていた 企画・運営に割ける人的・時間的資源の不足 「必要性は認識しているが実行に至っていない」体制面の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ペアレントトレーニングの段階的導入
2	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブ、児童館との交流が少ない 地域に開かれた事業所運営が十分でない 児童発達支援センター等との連携評価にばらつき 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内支援を優先してきたこと 連携担当の役割明確化不足 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事への参加 連携担当の明確化 児童発達支援センターとの情報共有強化
3	<ul style="list-style-type: none"> 当日の支援振り返りが十分にできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎との時間的重複 業務改善の仕組み不足 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間の当日共有時間確保 PDCAサイクルの明確化

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	いろ織びつじいる		公表日		2026/2/27	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	一階と二階で分かれて活動している。	バギー利用者の安全を確保するスペースがない。クールダウン用の個室が確保できていない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3		マンツーマンでついた方が良い児童が複数在籍している上、障害特性が実に様々で個別対応が不十分。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	支援終了後に清掃することを徹底して、清潔を保てるようにしている。	心掛けてはいるものの、整理が追い付かなくなっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	4		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1		収支について実情把握を全体で行っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		保護者会の開催ができていない。共に子育てするという意識を持てたら。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		第三者による外部評価がない。（見えてこない）
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2		事業所内をもっとやれたら良いが、時間的に難しい状況。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	職員全体からの意見を集めながら、保護者との面談を通して計画作成に努めている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	職員間での情報共有ができるように必要に応じた話し合いの時間をとっている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	職員間での共有ができるように職員に回覧することで確認をしてもらっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	日案を作成してチームとして取り組む形で支援を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	一人が支援の流れを決めるのではなく、日によって日案作成者を設定している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	6	支援終了後に時間をとっての打ち合わせが難しいため、翌日の朝などに情報共有する形をとっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	3		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	3		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4		近年、そのような流れで移行されている方が少ない(いない)ため実際に移行された時にスムーズな情報提供ができるように準備していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4		地域の児童発達支援センターとの連携が希薄。改めて連携を行い、支援の質向上に繋げたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	土曜日などに児童館を訪れて活動することもある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	時間が合えば、積極的に参加するようにしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	県や市からの案内を必要に応じて保護者に情報提供している。	家庭に踏み込めていない。支援会議や担当者会議を通じて連携しながらすすめていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7		毎年、保護者会の開催を検討しているが先に進んでいない。会場の検討や実際の日程調整についてどのように進められるのかを動き出しとしたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1		様々な障害特性を持った方が在籍しているため、理解を深める必要性を感じている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		まずは、地域の方々との信頼関係を築くためにごちからからの誘いかけやごちからから地域の行事に参加していくことから。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			